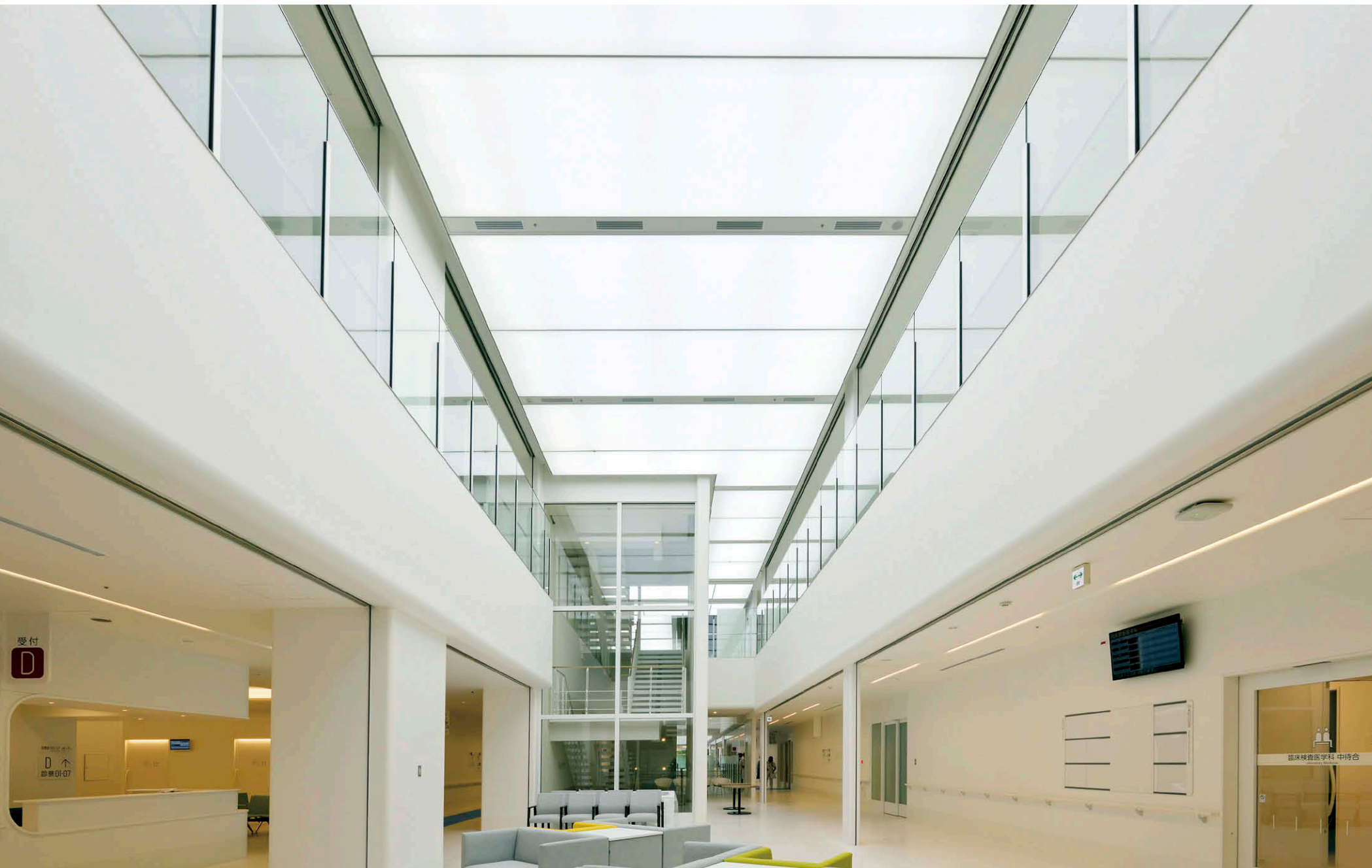


2019年7月に東京医科大学の新病院が開院しました。新病院は“患者ファーストのものづくり”をコンセプトに、都心の快適な大学病院として生まれ変わりました。照明設計においてもそのコンセプトのもと、くつろげる空間、快適な入院生活ができる環境のため各フロアやスペースの機能によって、LED器具を使い分けて配置しています。



光膜照明や間接照明の効果的な採用で、快適で穏やかな照明環境を創出。

エントランス、総合受付などがある1階は吹抜けになっており、開放感を演出し、利用者を穏やかに迎えます。吹き抜け天井に光膜照明を採用し、TENQOOシリーズ直付形の昼光色を552台配置しています。天候、時間にかかわらず自然光のような白く爽やかな空間を創りました。2階の外来待合スペースは、折り上げ天井にTENQOOシリーズ直付形の温白色を採用しています。19階の特別病棟は、ラウンジの天井がゆるやかに曲線を描く折り上げ天井になっており、TENQOOシリーズを

間接照明として、壁際にはグレアレスのLEDダウンライトを配し、電球色で統一しています。また特別個室はTENQOOシリーズ電球色を採用し、プライベート感に満ちた空間で治療に専念できる環境をつくっています。このほか9階の職員食堂は温白色のLEDダウンライト、間接照明にてしつらえ、緊迫した医療環境の中で落ち着ける空間を提供しています。院内全体の照明が上品で洗練され、どこにいても快適で落ち着ける照明環境を創出しています。

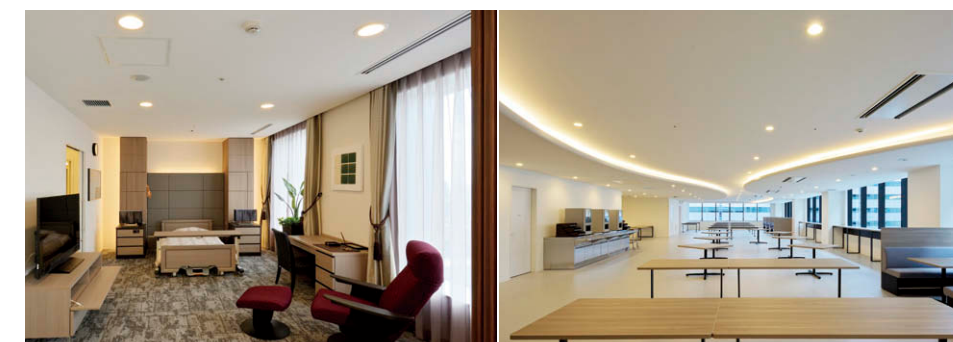
552台のLEDベースライト①②の光膜照明によって3層の吹抜け空間の開放感を演出。



【物件概要】  
所在地：東京都新宿区  
延べ床面積：約98,000㎡  
病床数：904床  
階層：地上20階・地下2階  
施主：学校法人東京医科大学  
設計・施工：株式会社大林組  
開院：2019年7月



9階特別病棟ラウンジ LEDベースライト⑤とLEDダウンライト⑧の電球色で統一。Ra90以上の高演色。



特別個室 LEDベースライト⑤⑥で落ち着きある空間を創出。Ra90以上の高演色。

職員食堂 LEDダウンライト、間接照明⑦を中心に配置。



2階外来待合スペース LEDベースライト④で間接照明を計画。

3階外来エリアから見た光膜照明。

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名 (品種名)	形名	台数	備考
院内	LEDベースライト TENQOOシリーズ40タイプ直付形	① LEKT407693D-LD9 (昼光色)	403	消費電力：43.0W
	LEDベースライト TENQOOシリーズ20タイプ直付形	② LEKT207323D-LD9 (昼光色)	149	消費電力：21.6W
	LEDベースライト TENQOOシリーズ70タイプ直付形	③ LEKT407323WW-LS9 (温白色)	28	消費電力：19.7W
	LEDベースライト TENQOOシリーズ直付形	④ LEKT407323WW-LS9 (温白色)	22	消費電力：19.7W
		⑤ LEKT407323VL-LS9 (電球色)	16	消費電力：21.3
	LEDベースライト TENQOOシリーズ直付形	⑥ LEKT407693VL-LD9 (電球色)	42	消費電力：47.0W
	LEDダウンライト	⑦ LEKD256013WW-LS9 (温白色)	109	消費電力：17.5W
	LEDダウンライト (グレアスタイプ)	⑧ LEKD1563013L-LS9 (電球色)	17	消費電力：10.8W